# 広報五城目

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課
（電話 五城目 501番～505番）（一部五円）
印刷所 五城目印刷所 電話571番


12月は納税最後の月です。年間事業の仕上げなど支出も大きいので、納税者の皆さんのご協力を特にお願いいたします。

▽町民税 4期 12月25日
▽国保税 4期 〃

## 国勢調査の概数

### 前回より1,165人減る

10月1日に行なわれた国勢調査による五城目町の人口と世帯数の概数は、昭和35年の国勢調査に比べると、人口が1165人(5・8%)の減、世帯数は193（5・2%）の増となっています。人口の減は高校や中学卒業生の県外就職、出かせぎの長期化などがおもな原因となっています。
各地区の人口、世帯数は下の表にあらわしました。

| | 昭和40年、国勢調査 | | | | 昭和35年、国勢調査 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 男 | 女 | 計 | 世帯数 | 男 | 女 | 計 | 世帯数 |
| 五城目 | 3,848 | 4,274 | 8,122 | 1,870 | 3,974 | 4,248 | 8,222 | 1,671 |
| 馬場目 | 1,578 | 1,488 | 3,066 | 550 | 1,598 | 1,683 | 3,281 | 536 |
| 富津内 | 1,184 | 1,314 | 2,498 | 469 | 1,328 | 1,478 | 2,806 | 471 |
| 内川 | 922 | 975 | 1,897 | 382 | 999 | 1,084 | 2,083 | 380 |
| 大川 | 1,066 | 1,114 | 2,180 | 395 | 1,163 | 1,210 | 2,373 | 399 |
| 面潟 | 522 | 575 | 1,097 | 215 | 623 | 637 | 1,260 | 231 |
| 計 | 9,120 | 9,740 | 18,860 | 3,881 | 9,685 | 10340 | 20,025 | 3,688 |

（一世帯平均 4.8人）

## 雀館に町営児童館

### 250万円で京野組着工

町立児童館の建設が本決まりとなり、十一月十三日午前十時役場第一会議室において指名競争入札を行なったところ、二百五十万円で京野正二氏に落札しました。

建物の規模は五十六坪、木造平家建、一部モルタル仕上でホール、小会議室、図書室、それに卓球台、スベリ台などの遊具も備え付け、児童、生徒の健全な遊び場とし、青少年非行防止の一助にしようとするものです。

場所は雀館公園内に百八十六・四六坪の敷地をつくり、そこに建設するもので、総工費二五十万円のうち三分の二は国、県の補助、残り三分の一は町負担で、十一月十六日から着工し、十二月二十五日竣工の予定です。

なお、竣工後の運営については児童館運営審議委員会（館長小林町長、委員長小林助役）で審議のうえ決定することになっています。

五城目橋の架け替え工事は、いま青与組の手で急ピッチですすめられています。長さが95メートルが6メートルで、工費は約2,700万円。来年は躍進「五城目町」にふさわしい近代的な橋ができあがります。

## 正しい選挙を呼びかけ

### 市場で弁論大会開く

五城目町選管理委員会と五城目町明るく正しい選挙推進協議会では、十一月二十日町通りで「明るく正しい選挙」をすすめるための街頭弁論大会を開催しました。

この日出場したのは中学生二人、一般二人あわせて四人でしたが、中学生では富津内中二年伊藤春男君が「とり残されている選挙のしかた」、杉沢中二年石川愛子さんは「明るく正しい選挙をすすめるために」というテーマで、おとなのみにくい選挙に対する痛烈な批判と、おとなが正しい選挙をするのにわれている点を、純真なこどもの目から見た意見を堂々と呼びかけました。

また、推進協議会上山内大石フサ子さんは「豊かな生活のために」、錦織徳夫さんは「選挙違反は犯罪である」というテーマで選挙の重要性とありかたについて熱弁をふるいました。

当日は定市場日で街頭にあふれた人々は買うことも売ることもしばし忘れてききほれていました。

今後も折を見てこのような催しをし、明るく正しい選挙をすすめるための常時啓発をすることにしています。

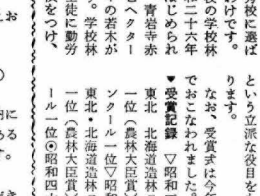
## 富津内西小学校 少年赤十字団を結成

富津内西小学校（校長渡部徳治郎氏）に少年赤十字団ができ十一月十七日目赤秋田県支部長（代理）をむかえて結団登録式と団旗授与式を行ないました。

同校少年赤十字団は四年生以上の児童によって組織し、健康と勉学にはげむほか、小さい力でも社会のために働くことを目的としており、世界中の青少年が博愛と奉仕で手をつなぐ立派な「場」でもあります。

当日は、県支部長代理のほか小林町長、小林教育長、五高赤十字団代表などたくさんの来賓をむかえ、はげましのことばを受けました。

なお、本町でははじめての少年赤十字団の結成です。



（写真 正しい選挙をと人々に訴える）

## 東北．北海道造林コンクール

### 馬場目中学校 3年連続上位入賞

馬場目中学校は、このほど東北・北海道造林コンクールでみごと二位に入賞し、林野庁長官賞を受賞しました。

昨年と一昨年は農林大臣賞を獲得しており、三年連続して造林優秀校に選ばれたわけです。

同校の学校林は昭和二十六年川台、青岩寺赤熊台の三か所に八・七ヘクタールを経営し、いまスギの若木がみごと生長しています。学校林をはじめた目的は、生徒に勤労と責任を重んずる習慣をつけ、同時に生物愛護と国土緑化の精神を育む……ということにあり、それに最近では生きた野外教室という立派な役目をも果しております。

なお、受賞式は今年九月札幌でおこなわれました。

▼受賞記録 ▽昭和三十八年 東北・北海道造林コンクール一位（農林大臣賞）県造林コンクール一位▽昭和三十九年 東北・北海道造林コンクール一位（農林大臣賞）県コンクール一位◎昭和四十年、東北

（写真 下刈りに励む生徒たち）

## 新年名刺交換会

恒例の「新年名刺交換会」を次のとおり開催します。町民各位多数のご参加を望みます

▽ 日時 1月1日 午前10時
▽ 場所 五城目小学校
▽ 会費 1人 250円（予定）
▽ 参加申込 12月27日までに会費を添えお申し込みください。
▽ 申込先 五城目町役場総務課
（電話501番）中央公民館（電話414番）
大川出張所（電話一日市24）

◎名簿をつくる都合もありますので期日内にお申し込みください。なお、変更などのある場合はポスターかチラシでお知らせします。

## 年末年始の休み

役場の事務は次の期間中休ませていただきますからご了承ください。なお休み中に急用の方は当直者へお話しください。

▽ 12月28日午後から31日まで
▽ 1月1日から3日まで。
▽ 1月4日から事務始め。

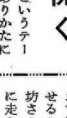
## 年末年始を簡素に

とかくむだの多い年末、年始を「簡素に、明るく」すごすために

◎お歳暮や年始贈答はやめましょう。
◎料理は簡素にしましょう。
◎家族そろって楽しい正月にしましょう。
◎忘年会、新年会は自粛しましょう。

## 師走（しわす）

陰暦の十二月のことを師走（しわす）といいます。語源は、十二月にはお坊さんを迎えて経を読ませるので、お坊さんは東西に走りまわるから師走月ゃという。……といわれています。また、日頃おっとりしているお師匠さんも借金に追いまわされるゃあるいは貸したお金を集めに走り回るゃので師走というのだろうと、ちがった説もあり、「為果（しは）つる月」とか、諸説があります。



## 善意に感謝します

◆斉藤芳郎さん（長町）香典返しとして一万円を町の福祉事業へご寄付（善意銀行予託）
◆佐々木武之助さん（岡本）男子こども用オーバー二着、女子こども用トッパー一着ご寄贈（歳末助け合い取扱い）
◆森山マイクロウエーブ道路建設に従事している方（匿名）甘柿、手拭を養老院へご寄贈

## 住所が変ったら

### 変更届けをしよう

国民年金では加入者ひとりひとりの資格やかけ金をかかたことなどを記録した台帳を田社会保険事務所で保管しています。

ところが、住所が変っても届けなければ役場や社会保険事務所の台帳もそのままになっており、将来、みんなが年金を受けるときに自分だけ年金を受けられないこともおきてきます。

転入届を出すときいっしょに国民年金手帳を出して住所変更の手続きをしてください。

## 広報サロン

○青少年育成推進大会がさる二十日、五城目第一中学校で開かれ「青少年非行化防止体制を強化するにはどうすればよいか」をテーマに真剣に討議された。

○出席者は口をそろえて補導機関、各種関係団体の緊密な連絡が必要であると強調していた。この意味からこうした全町挙げての推進大会の意義が改めて認識された。

○林業構造改善が叫ばれて久しい。五城目町の農家は、一九〇六戸（一〇・九三二人）で九割は兼業農家である。耕作反別は一九三、三五二畝で一戸当り一町二反歩に過ぎない。世界一小規模農業の思い切った基盤整備と営農合理化が必要なわけである。

○大川地区が構造改善の指定地区として四十二年度から三か年計画で事業開始すべく今熱心に準備が進められている。農協合併の目的もこうした時代の要請によるものと思われる。

○区画整理の四五五ha、灌排二五ha、暗渠排水二〇〇ha、養豚の共同化、トラクターの共用等近代農業のモデル地区が形成されることが期待されている。

○基盤整備は六%、施設事業は一割の自己資金で農業改善事業が進められるわけである。

○前時代的な郷愁はさらりと捨て、近代農業へ前進したいものである。

いずれにしても、十二月は一年のしめくくりをする月ですから借りたお金や本などはきちんと返したいもの。また家庭内のことも手順を考えて暮れがせまってからあわてないようにして、すっきりした気分で新しい年を迎えたいものです。

× ×

（昭和37年12月5日 第3種郵便物認可）　（発行日　毎月1日）　昭和40年12月1日

# 1月5日五小で成人式
## 該当者200名
## 服装は質素に

昭和四十一年五城目町成人式は次の要綱にもとずき実施いたしますので、該当者はもれなく参加してください。なお、このたびから、成人該当者の保護者を対象にしてわが子、または、弟妹を世に送り出すまでの「生活記録」「わが子の成長記録」なんでも結構ですから、家庭内における青京感ふれる人間愛をうたいあげた文集を発行したい計画ですので、ふるって応募してください。

**成人式開催要綱**

**趣旨**　希望と輝きに満ちた若人の成人に達した意義深いこの日を祝い、名実共に心豊かな明るい社会をつくる成人になろう期待し、心からその前途を祝福する為に開催するものです。

**二名称**　昭和四十一年五城目町成人式

**三主催**　五城目町、五城目町教育委員会

**四該当者**　昭和二十年四月二日から昭和二十一年四月一日までに生れたもの

**五開催日時**　昭和四十一年一月五日（水曜）

**六会場**　五城目小学校

**七内容**

①受付　午前八時～九時
成人は各地区毎に会場の東西入口、来賓保護者は正面玄関

③日程

④成人整列　午前九時～九時四十分

⑤来賓保護者町当局関係者入場着席、午前九時三十分～九時四十分

⑥町長登壇午前九時四十五分
⑦成人入場行進　午前九時四十五分～九時五十三分

⑧成人式目程説明　午前九時五十五分～五十九分

**八成人式次第**午前九時～十一時

①開式　午前十時
②開式の辞　③国歌斉唱　④式辞　⑤成人点呼
▽各地区毎に町内名成人名を点呼する。▽点呼の際は返事して起立する。この場合後方より起立できるよう整列着席すること
⑥成人証書並びに記念品授与
▽成人証書並びに記念品は各地区代表者（男女各一名）に授与する。
代表者以外の成人には記念行事終了後各地区の控室に於て係員より渡す
⑦町長祝辞　⑧来賓祝辞
⑨宣誓　大川地区代表（女子）
▽町長登壇して宣誓うける
⑩実民の歌　⑪万才三唱
⑫閉式の辞　⑬修礼

**九記念行事**　午前十一時～午後一時
①成人の感想発表
②自衛隊音楽隊の演奏発表

**十その他**　①年々服装が派手になる傾向にありますが、できるだけ質素なみなりで、該当者みんなが気軽に参加するようにしてください。②上履は各自ご用意下さい④例年の事例から旧町内の該当者が時間に遅れますのでご注意願いたい。⑤その他成人式に関することでおきたい事がありましたら、中央公民館（電話四一一四）の方へお問い合せ下さい。

**十一成人保護者の感想文を募集**

❶趣旨　わが家をいこいの場、教育の場として、わが子あるいは弟妹を成人に育てあげた苦労さらに、二十年の星霜をふりかえり保護者として数々の思い出があると思います。その尊い記録をまとめ生きた青年教育の資料にする。❷題目　自由❸応募資格　昭和四十一年成人該当者の保護者❹原稿枚数　四百字詰原稿用紙五枚以内❺締切十二月十八日まで❻届先　中央公民館❼発表　成人当日❽応募者全員に記念品を贈呈。原稿はお返ししません。

**成人の感想文と主張出場者募集**

**一趣旨**　成人の日は人間一生にとっても日本の未来にとっても最も意義深い祝祭日であります。成人のみなさんは波乱の多い人生行路に対する希望あるいは疑問も当然生れてくる事と考えられますのでその感想を綴りあげて頂き今後の社会教育の資料にします。

**二課題**　趣旨の範囲内において自由

**三応募資格**　昭和四十一年五城目町成人該当者

**四原稿枚数**　四百字詰原稿用紙五枚（二千字以内）

**五切**　昭和四十年十二月十八日まで

**六届先**　五城目町中央公民館宛

**七発表**　謄写印刷の上成人式当日発表する。

**八応募者**　記念品を贈呈する。

**九その他**　原稿は返しません。
※成人の主張は同様な内容でその発表者を募集しますが、これは当日の記念行事の一部として頂く事を目的とするものです。なお想文をそのまま当日発表しても結構です。

**さあ買ってケレ、安くマケラエ……いまが秋野菜の出さかりです。そこまで来ている冬にそなえて死る人も、買う人も真剣そのもの**

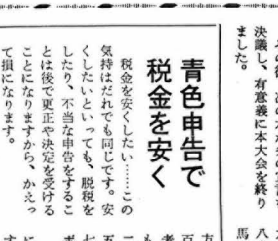
# 史跡めぐり
## 浦城（その一）

郷土史研究家　分銅志静

面潟まわりのバスに乗り、岡本を過ぎ、白水沢のなかに出て、小立花という停留所に降りると、すぐ眼の前に標高八〇米ほどの古館山がふさがっている。中腹に八幡社があって、老杉がうっそうとしげっている。頂までは爪足立ちのけわしい径がつづく上は可成りの広場になっており、またその上に二段高く形の広場がある。今は雑木林になっているが、その辺が昔の浦城の本丸のように思われる。数年前、岡本の有志とその本丸とおぼしき一帯を発掘したことがある。山内城や馬場目城のように、安部の宋時代の青磁は出なかったが、明時代の青磁、白磁、日本の黄瀬戸や、志野の破片が出た。この浦城が、もしかだとは天正十六年（今から四十三年前）、中央では秀吉の天下統一がすすんでいた）と思われるが、いずれもそれ以前の年代のものばかりで、それ以後の唐津風のものは一片も見当らなかったとくにこの発掘で気付いたことは、本丸の台上の縁辺に松度一にぎりほどの丸い小石がるいるいとつらなっていた。おそらくこの浦城はいろいろの物語があり浄瑠璃にもうたわれている。

この浦城の落城をかたる前にその発端となった秋田安東家の内乱についてふれてみたい。この安東は足利尊氏の頃、津軽の十三湊から南下して、現能代市の檜山城山城により、秋田、山本、比内の三郡を領し、実季の父愛季の頃は現在の土崎に本城を構え、秋田の中心を制し、その威勢は四隣を圧していた。

ところが天正十五年九月一日にその一世の智将愛季が角館の戸沢氏と交戦中、陣中で急死したその時愛季は四十九才、子の実季はわずか十三才であった。その頃豊島城には愛季の弟茂季の子道季がいた。道季は二十四才あるいは二十才ともいう。いずれにせよ実季より年上であった。その上、土崎の湊城はもともと父茂季の居城で、それを兄の愛季にとられたものであるから、道季は愛季の死を好機として翌天正十六年二月九日に安東ッ取ったクーデターを起しはなかったので、県南の小野寺氏、角館の戸沢氏、その他の諸侯の一大連合軍をつくり、十三才の実季を湊城に攻めた。実季は六月に大敗を喫し、ついに檜山の本城に立籠ることになった。この従弟同志の内乱は最初は道季の叛乱軍が圧到的につよかった。その時の浦城主は智勇兼備をうたわれた三浦兵庫頭盛永であった。


（写真　浦城跡）

## ——第2回町青少年育成大会——
# 少年を非行から守る

第二回五城目町青少年育成推進大会は十一月二日午後一時半から五城目第一中学校体育館で開かれました。

まず、主催者から活動報告があり、続いて五城目署田村防犯主任から「町内青少年非行の概要」、馬川小PTAから「校外生活の状況」、富田部落PTAから「部落内における指導」、築地町荒川要五郎氏から「児童館運営の問題点」について、それぞれ説明があり、全体問題として「青少年非行防止体制を強化するにはどうすればよいか」を熱心に討議し、非行化防止に全力をあげることにしました。

その後、次の六か条の宣言を決議し、有意義に本大会を終りました。

❶青少年の生活態度をつかみ、社会のうつりかわりに順応した家庭教育の方向を確立する。
❷青少年をよく理解し、社会の一員として尊重する。
❸地域社会こぞって青少年の育成援護及びその組織強化をはかり、かつ交通事故などの防止につとめ、青少年の健全育成を期する。
❹青少年をとりまく環境の浄化につとめる。
❺児童館を年次計画で設置することを推進する。
❻青少年の道義感を高め、規律と心情を養い、自主的、協調的活動を援助し、あやまちに対しては愛情ときびしさをもって厳格的に補導する。

## 昭和四十一年度入学児童健康診断

昭和四十一年度入学児童健康診断は、次の日程で行なわれます。

▽十二月十六日午後一時　五城目小学校（一八三名）▽十二月九日午後一時　馬川小学校（一八名）▽十二月八日午後一時　馬場目小学校（三一名）▽十二月十日午後一時　杉沢小学校（二一名）▽十二月十三日午後一時半　富津内西小学校（二〇名）▽十二月六日午後一時半　富津内東小学校（一七名）▽十二月十日午後一時半　内川小学校（三三名）▽十二月七日午後一時半　大川小学校（二八名）児童数合計三〇六名

今年もまた年の瀬を迎え、師走のおわただしい時期となりました。ちょっとした油断から窃盗、スリにねらわれたり、迷惑行為を受けたり加えて学校の冬期休校に入り町にはいろいろの誘惑の手がのびてきます。

犯罪のない楽しい正月を迎えるために、みなさんのご協力をお願いします。警察では防犯組合と協力して、十二月十五日から新年の十五日まで年末年始の特別警戒取り締りを実施します。

**年末の防犯を みんなの力で**

◎暴力は町の恥

「みた」「きいた」「やられた」は、すぐ警察へ

五城目警察署

## 家庭の日

12月15日の第三日曜日は「家庭の日」です。清物、冬囲い、ストーブの煙突点検、庭木の囲いなど、寒い冬に備え、家庭みんなで仕事をやるほか、話し合いしてたのしい1日をおくりましょう。

## 民生委員任期満了

本町民生委員（四十六名）は十一月三十日で任期満了となり二十六日に最後の委員会を開きました。

なお、新しい民生委員は十二月一日付で厚生大臣から任命されます。

## 青色申告で税金を安く

税金を安くしたい……この気持はだれでも同じです。安くしたいといっても、脱税をしたり、不当な申告をすることは後で更正や決定を受けることになりますから、かえって損になります。

税金を安くするいち番よい方法は「青色申告」で、年間百万円の所得がある人（専従者妻と長男、十三才以下ごとも二人など）で、申告すれば二万四千円、申告しなければ五万六千七百円で、三万二千七百円のひらきがあります。

**ボーナスと税金**

十二月は給与所得者のために「年末調整」が行なわれますが、その前に次の点を調べてください。

❶扶養控除申告書の異動申告を提出したかどうか……それによって過不足の精算がされます。

また、給与所得のほかに家賃、配当などの所得が五万円をこえる方、二か所以上から給与を受けている方は三月十五日までに確定申告をしなければなりません。くわしいことは税務署直税課へ問い合せてください。

秋田北税務署